



創世会  
二村 禮一

### 待機児童対策は

**Q** 幼児教育・保育無償化で新たな需要が掘り起こされ、かえって待機児童が増えることが懸念される。その点についての対策を伺う。

### 施設整備を図りながら待機児童対策を進める

**A** すぐかけっこ保育園の拡張やこども広場あんりの定員変更、おおさかこども園の開園、小規模保育事業所2園の開園により、認可定員が171人増員します。また、2つの企業内保育所が開園する予定です。今後は、南西郷地内へ認可保育園の建設や智光幼稚園の認定こども園化で保育定員の増を支援するとともに、次期「子ども・子育て支援事業計画」に基づく施設整備により待機児童対策を進めていきます。

### 保育士の確保策は

**Q** 保育需要増大に伴う保育士の確保策について伺う。

### 相談会や貸付事業で人材を確保する

**A** 市内外の保育士や幼稚園教諭などの人材を確保し子育て施策の充実を図るため、市内の子育て関係施設が一堂に会して、情報提供や個別相談を行う相談会を開催しています。また、平成31年度より、保育士等就職応援資金貸付事業を実施し、市内の保育所等に勤務を希望する保育士や幼稚園教諭の方に、就職に必要な費用を貸与して人材確保を図っていきます。



平成31年4月1日から認定こども園として開園した「おおさかこども園」

至誠の会  
鷺山 喜久

### 「特別の教科である道徳」をどのように取り組むのか

**Q** 国の検定に合格した教科書が使用される「特別の教科である道徳」が全国の中学校でこの四月から始まる。成績は他の教科の五段階とは違う。市内中学校ではどのように取り組むのか伺う。

### 記述式で評価を行う

**A** 学習指導要領では、数値なものとなつていません。他の生徒との比較ではなく、観察や会話、作文など学習の過程や成果の記録などの蓄積をもとに、その子がいかに成長したかを積極的に受け止めて、記述式で評価を行っています。

### 杉谷の「めばえ」の施設は、限界である。改善を

**Q** こども発達センター「めばえ」の利用者は増加傾向にあり、受入れできない状況で、構成市町のうち、掛川市からの利用者は半数以上を占めている。駐車場やプレハブ教室等、市としての考えを伺う。



こども発達センター めばえ

### 拡充に向け検討を進めている

**A** 仮設園舎を建設したこと、で、全体の視界も悪くなり、保育スペースも駐車場も狭い状況です。そこで、構成3市1町の担当課長と係長で組織する「東遠地区発達支援システム推進委員会」を設置し、3箇所目の児童発達支援センターの整備を含め、拡充に向けた検討を進めています。

### 【その他の質問事項】

・副市長人事について